

機械式時計のムーブメントは、普通の人には比較的なじみがなく、その理由は、通常、機械式時計の外観だけに注意を払い、内部に使用されているムーブメントにはあまり注意を払わないためです。以下では、この機械式[スーパーコピー時計](#)のムーブメントの構造構成とその品質を判断する方法を順を追って紹介します。



1. 機械式時計のムーブメントを手に入れると、まるで見知らぬ人に出会うようなもので、まずその人の外見を見て、次に服装を見て、その人の良し悪しや質を事前に判断することができます。動きの初動感はず変わらず、まずは表と裏から外観を見て、そこに見える各副木や各伝達部分の加工レベル、飾り線の細かさなどをじっくりとチェック均整がとれていることから、そのムーブメントが見た目に優れた製品であるかどうかを知ることができ、そこからそのデザインのコンセプトや加工と製造の細かさを判断することができます。また、醜いムーブメントの性能もわかります。

2. 最初にアーバーを回してムーブメントを巻き上げ、ひげぜんまい機構と脱進機を同時に観察できます。円を最大3回回転させると(スイスのムーブメントは通常1円です)、ひげぜんまい機構と脱進機は脱進機が始動し、動き始めます。このステップは、ムーブメントのメインドライブトレインの性能をテストすることです。正常に始動できない場合、主な理由は、メインのヒゲゼンマイシステムの分極に問題があることです。ムーブメントのドライブトレイン部分です。

3. てんぷヒゲゼンマイと脱進機が時間通りに起動し、正常に作動する場合は、引き続き巻真を回してムーブメントを巻き上げることができますが、注意すべき点はいくつかあります。快適で難しすぎない、そして非対称感。2つ目は、巻き上げを聞くときに音に注意することです。かじる音がないこと、多すぎないでください、通常は約20回転。このステップは、このムーブメントの巻き上げ列の性能をテストすることを目的としています。

4. このムーブメントのカレンダークイックシフトギアであるアーバーを2速まで引き出します。このとき、アーバーを2速まで引き出すとき、ギアがはっきりと感じられるように注意してください。ハンドルシャフトはカレンダーリングをすばやくダイヤルします。このとき、調査する重要なポイントは、カレンダーリングがクイックダイヤルギアの歯によって駆動されていることです。各歯はリズムカルにスキップする必要があります。;

5. 引き続き、このムーブメントの文字盤ブロックである3番目のギアに巻真を送り、巻真を回して時分針を動かします。良い感じですが、もっと観察する必要があります。唯一のことは、2つの針が12時まで重なるとエラーが発生することです。さらに、興味がある場合は、ステムを回し続けて、時分針は24時間後まで回転し続けます。カレンダーリングは1回飛びますのでご了承ください。調査用です。クイックダイヤルではなく、実際の動作を前提としたカレンダー機構の動作状況です。

6. 最後のステップは、このムーブメントの自動輪列の性能をチェックすることです。最も簡単な方法は、自動ローターの自然な垂れ下がり位置に注意を払い、次にムーブメントを垂直に回転させることです。自動ローターがこの位置を維持する場合変わらず、それは自動ローターを意味します。システムのパフォーマンスは柔軟であり、自動部分が最も注意を必要とする場所です。